

臨床研究に関する情報の公開

作成日：2026/7/23

研究課題名	大型脳動静脈奇形に対する volume-staged(段階的)でのガンマナイフ治療＋塞栓術の有用性の検討
研究の対象	2022 年 11 月 5 日～2027 年12月 31 日までに当院で、大型脳動静脈奇形において、volume-staged (段階的)でのガンマナイフ治療＋塞栓術を受けられた患者
研究目的	大きな脳動静脈奇形(以下 AVM と略)は、なお、その治療が困難であります。最近、大きな AVM に対するガンマナイフ治療において、volume-staged でのガンマナイフ治療の有効性が報告されています。しかし、なおガンマナイフ治療後の出血のリスクは高い(2.4-5.1%/年)。このような大きな AVM に対して、volume-staged での治療における更なる閉塞率の向上(=出血率の軽減)を目指して、塞栓術を加えるという考え方があり、その有用性が報告されています。また、塞栓術も、ナイダス閉塞を目的とするのでは無く、ナイダスの血流軽減を目的とした場合には、塞栓術の合併症も低いと報告されています。そこで、本研究では、大きな AVM に対して volume-staged でのガンマナイフ治療にナイダスの血流軽減を目的とした塞栓術を追加することの有用性を検討することを目的としています。
研究方法	大型脳動静脈奇形の患者さんにおいて、ガンマナイフ治療＋塞栓術の有用性を検討します。なお、volume-stage (段階的)でのガンマナイフの期間は原則3ヶ月間隔、volume-staged (段階的)でのガンマナイフ終了後の塞栓術は、原則ガンマナイフ終了後 1-2ヶ月以内に施行することとします。
研究に用いる試料・情報の項目 (例：血液、検査データ、診療記録等)	大型脳動静脈奇形に対する volume-staged でのガンマナイフ治療＋塞栓術を施行した症例において、AVM ナイダス閉塞率、治療後の出血率を検討します。
研究期間	2022 年 11 月 5 日～2027 年 12 月 31 日
外部への試料・情報の提供、取り扱いについて	データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。
研究代表者の氏名及び所属する研究機関の名称	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科
研究責任者および試料・情報の管理責任者(共同研究の場合は研究代表者)の氏名及び所属する研究機関の名称	岩井 謙育 社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科
上記以外の研究機関の名称	なし
本研究に対するご質問などについて	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
ご質問のお問い合わせ先	例) 社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科 いわい よしやす

	〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-48 TEL:06-6568-1601 FAX:06-66568-1608 Email:y-iwai@rc5.so-net.ne.jp 研究代表者 いわい よしやす
--	--